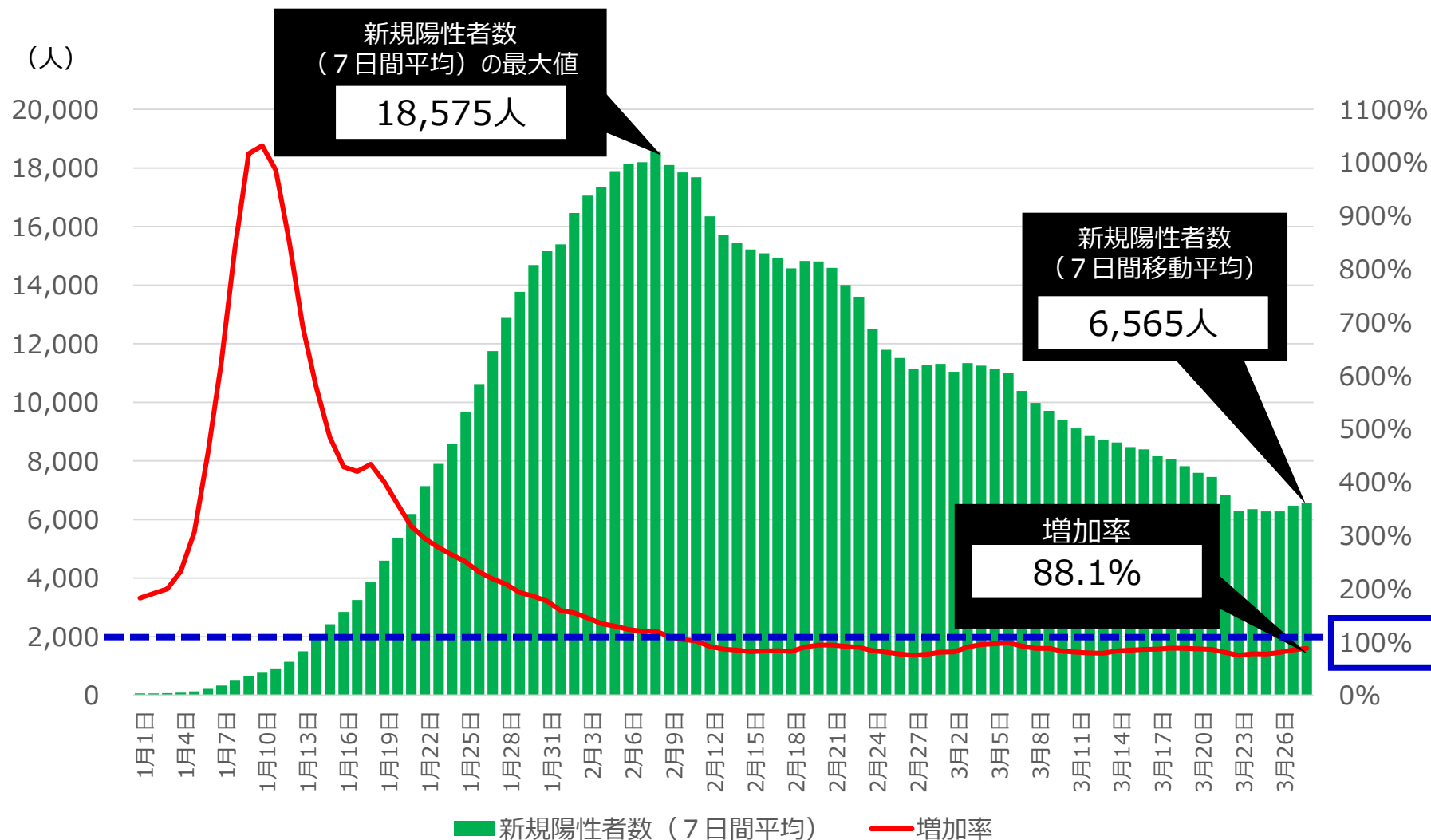


新型コロナウイルスの感染状況

資料 1

- 東京都の新規陽性者数 (3/28) : 6,565人 ※ 7日間移動平均
- 増加率対前週比 (3/28) : 88.1%



医療提供体制の分析（オミクロン株対応）

（令和4年3月23日公表時点）

モニタリング項目		前回の数値 (3月16日公表時点)	現在の数値 (3月23日公表時点)	これまでの 最大値 ^{※5}
指標	(1) オミクロン株の特性を踏まえた重症者用病床使用率 ^{※1}	20.4% (164人/804床 ^{※2})	16.0% (129人/804床 ^{※2})	36.3% (2022/2/22)
	(2) 入院患者のうち酸素投与が必要な方の割合	23.7% (668人/2,817人)	23.8% (538人/2,258人)	25.8% (2022/2/16)
参考指標	(3) 病床使用率 (新型コロナウイルス感染症患者のための病床全体のひっ迫度を把握)	37.5% (2,709人/7,229床)	30.0% (2,169人/7,229床)	71.2% (2021/8/31)
	(4) 救命救急センター内の重症者用病床使用率 ^{※3} (救命救急医療体制のひっ迫度を把握)	77.2% (465人/602床)	75.3% (464人/616床)	78.4% (2022/3/8)
	(5) 救急医療の東京ルールの適用件数 ^{※4} (救急医療体制のひっ迫度を把握)	154.1件	136.4件	264.1件 (2022/2/19)

※1・・・特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する病床の患者数及び人工呼吸器又はECMOの装着又はハイフローセラピーを実施する患者数の合計/特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する病床数及び人工呼吸器又はECMOの装着又はハイフローセラピーを実施可能な病床数の合計

※2・・・病床の使用状況や患者の重症度により変動

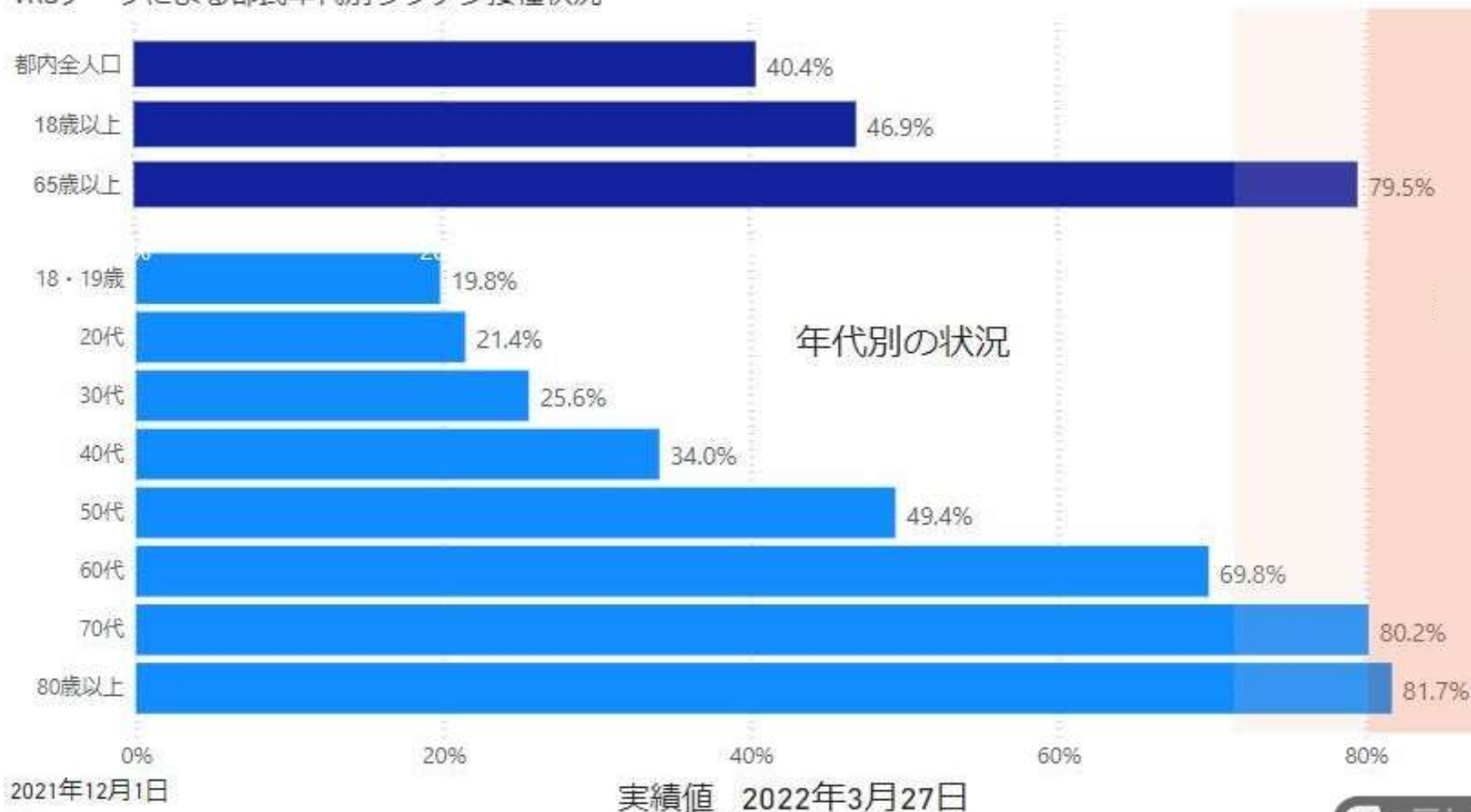
※3・・・救命救急センター内で特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する全ての患者数の合計/救命救急センター内で特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する全ての病床数の合計

※4・・・救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

※5・・・(1)(2)(4)は2022年2月2日公表時点以降の最大値

3回目ワクチンの接種状況

VRSデータによる都民年代別ワクチン接種状況



- 感染拡大防止の観点から積極的に接種の検討を
- 接種後は TOKYOワクション への登録を



都・大規模会場における3回目接種の推進

NO	会場名	最大接種規模	接種対象（18歳以上）
1	都庁南展望室	1,500 回/日	都内在住・ <u>在勤</u> ・ <u>在学</u>
2	行幸地下（予約なし実施中）	4,000 回/日	
3	立川南	1,500 回/日	
4	三楽病院	800 回/日	
5	乃木坂（予約なし実施中）	2,400 回/日	
6	立川高松（予約なし実施中）	2,000 回/日	
7	東京ドーム（予約なし実施中）	800 回/日	
8	都庁北展望室（予約なし実施中）	1,250 回/日	
9	多摩センター	900 回/日	
10	都立大・荒川キャンパス	1,000 回/日	若者・学生
11	都立大・南大沢キャンパス	1,500 回/日	
12	神代植物公園（ドライブスルー会場）	100 回/日	自力移動困難者
13	中小企業・飯田橋	500 回/日	中小企業従業員等
14	中小企業・サポートスクエアTAMA	500 回/日	
計		18,750 回/日	


 ワクチンバスによる接種数（約1,000回/日）と合わせて、**合計約20,000回/日**

集団感染を防ぐためのチェックリスト

管理監督者や学生を対象にした感染予防策のポイント等をまとめた**チェックリストを作成**

管理監督者	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染発生時の連絡・情報共有体制の構築 ● 感染発生時の役割や対応方針の明確化 ● 最新の情報に基づく感染対策の確認 ● 日々の健康管理の徹底 ● 相談体制の構築
学生	<p>《学生寮》</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 寮内でもマスク着用 ☑ 部屋の換気と整理整頓 ☑ 食堂やお風呂の入れ替え制 ☑ 手指消毒「使用」徹底の工夫 <p>《部活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 休憩・ミーティング時もマスク着用 ☑ マスクを外すときは会話を控える ☑ バス移動時は、感染対策の徹底と、人同士の距離を確保

＜学生のみなさまへ（チェックリスト（表面））＞

新型コロナウイルス感染症
学生寮・部活動で集団感染を防ぐために


学生のみなさまへ

学生寮や部活動は、感染拡大のリスクが高く、これまでも多くの集団感染が発生しています。日々の感染予防対策を徹底することでリスクを減らすことができますが、ポイントをおさえないと、有効な対策とならない場合があります。以下のポイントを踏まえて、日々の対策を振り返ってみましょう。

「学生寮」の感染対策ポイント 

- 寮内でマスクを着用していますか？

【POINT】 相部屋の場合や、共有スペースを使用する際は、マスクを着用しましょう。マスク以外にも、利用時間が重なりやすい食堂や風呂を入れ替え制にしたり、更衣所で会話しないよう注意喚起ポスターを掲示するなどの工夫を行っている好事例もありました。
- 部屋の換気を行っていますか？
- 部屋が整理されていて、窓やドア周辺に空気の通り道が確保されていますか？

【POINT】 窓の前に荷物がかかって、窓が開けられない・空気が通らないなどの事例がみられました。換気の徹底とともに、部屋の整理をいまいちと確認してみましょう。
〔東京都では「換気のポイント」をまとめて紹介しています〕 
- 手指消毒剤は適切な場所（動線上、目につく場所）に設置していますか？
- 手指消毒剤の残量確認やポンプの清掃を定期的に行っていますか？

【POINT】 手指消毒剤は、設置期間と残量から「使用頻度」を把握し、あまり使われていない場合には、より目につく設置場所へ変更するなど、「設置」ではなく、「使用」が徹底されるように取り掛かることが大切です。また、手指消毒剤には保湿成分を含む製品もあり、飛び散った消毒剤に埃が付着し汚染される場合があるため、定期的にポンプを清掃することが望ましいです。

基本的な感染防止対策の徹底

- ✓ **歓迎会等の飲食機会の増加に注意**
- ✓ **会食等に関する学生等への注意喚起
認証店で4人以内、2時間以内で(※)**
- ✓ **3密の回避、マスクの着用、手洗いなど、基本的な感染防止策の徹底**
- ✓ **発熱等の症状がある学生等が登校や活動参加を控えるよう周知**
- ✓ **感染防止とオンライン授業などによる学修機会の確保の両立を**



※陰性証明書等を活用し、全員の陰性の検査結果を確認した場合を除く